

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位  
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組  
 教科担当者： (1組：岡田) (2組：岡田) (3組：岡田) (4組：岡田) (5組：岡田) (6組：岡田) (7組：岡田)  
 使用教科書： 『高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる』第一学習社（地総 706）

教科 地理歴史 の目標：  
 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。  
 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。  
 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>球面上の世界と地図</p> <p>【知識及び技能】                      ・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解できる。                      ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、科書掲載の時差の計算のワークに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】                      ・インターネット上のウェブ地図を見て、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解できる。                      ・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。                      ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】                      ・地図やGISを用いて、身の回りの地図の活用事例について調べることができる。</p>	<p>・指導事項                      ・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解する。                      ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解する。                      ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。                      ・日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。                      ・教材：教科書・地図帳・準拠ノート                      ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識・技能】                      ・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解する。                      ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、科書掲載の時差の計算のワークに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】                      ・インターネット上のウェブ地図を見て、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。                      ・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。                      ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】                      ・地図やGISを用いて、身の回りの地図の活用事例について調べることができる。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>国家の結びつきとグローバル化する社会</p> <p>【知識及び技能】                      ・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化してきたかを時系列で理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】                      ・単に交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。                      ・さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものがあるかを、理解できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】                      ・インターネットショッピングを事例に、情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかわってくることを、実体験とともに考えられる。</p>	<p>・指導事項                      ・国家とは何かを学習し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化してきたかを時系列で理解する。                      ・日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものがあるかを、理解する。                      ・人・「モノ」・資本の移動による国家間の結びつきや、それらの課題を理解し、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。                      ・教材：教科書・地図帳・準拠ノート                      ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識・技能】                      ・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化してきたかを時系列で理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】                      ・単に交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。                      ・さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものがあるかを、理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】                      ・インターネットショッピングを事例に、情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかわってくることを、実体験とともに考える。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>生活・文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】                      ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。                      ・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>・指導事項                      ・写真から地理的環境を読み取り、世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることを学ぶ。                      ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。                      ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているかを学習する。</p>	<p>【知識・技能】                      ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。                      ・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。</p> <p>【思考・判断・表現】                      ・祭りやスポーツ、音楽などの伝統と現代社会の影響</p>				

	<p>・祭りやスポーツ、音楽などの伝統と現代社会の影響を受け、変化が見られる事例を学び、現代世界の諸事象を読み解く視点を身につける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・教科書のワーク⑦に積極的に取り組み、自分の考えやグループの考えをまとめ、発表することができる。</p>	<p>・世界の特色ある生活文化のうち、地理的環境の影響を色濃く受けた衣食住の事例を通して学ぶ。</p> <p>・世界の特色ある生活文化は、地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを学習する。</p> <p>・教材：教科書・地図帳・準拠ノート ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>響を受け、変化が見られる事例を学び、現代世界の諸事象を読み解く視点を身につける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・教科書のワーク⑦に積極的に取り組み、自分の考えやグループの考えをまとめ、発表することができる。</p>	○	○	○	14
定期考査				○	○		1
2 学 期	<p>・持続可能な社会を目指して</p> <p>【知識及び技能】 ・すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて</p> <p>・現在、直面している地球の課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・地球の課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解できる。</p> <p>・現在、直面している地球の課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を学び、地理で学習する地球の課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。</p> <p>・現在、直面している地球の課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。</p> <p>・地球の課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解する。</p> <p>・教材：教科書・地図帳・準拠ノート ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識・技能】 ・現在、直面している地球の課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・地球の課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解する。</p> <p>・現在、直面している地球の課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。</p>	○	○	○	5
自然と調和した豊かな社会に向けて	<p>【知識及び技能】 ・資源・エネルギー問題について、資源の限界性と偏在性を理解し、原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化と新エネルギー開発の必要性について考察できる。</p> <p>・居住・都市問題について発展途上国ではスラム、先進国ではインナーシティ問題などが現れていることを理解できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・身の回りで見られる再生可能エネルギーについて、そのメリットとデメリットを比較して、持続可能な社会に必要なエネルギー構成を構想することができる。</p> <p>・持続可能な都市を実現するためには都市政策と都市計画が欠かせないことを理解し、大ロンドン計画や計画都市ブラジリア、ドックランズの再開発、日本でも注目を集めるようになったグリーンインフラなどの具体的な事例の学習を通して、主権者として持続可能な都市の実現に向けた行動を考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・通学路や学校周辺の空き家など、身の回りの都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向け学習した内容を振り返ることができる。</p>	<p>・現在、直面している地球の課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。</p> <p>・一定地域の地理的環境と深く関連し、長い歴史をおして育まれた民族性について理解した上で、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案することができる。</p> <p>・教材：教科書・地図帳・準拠ノート ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識・技能】 ・資源・エネルギー問題について、資源の限界性と偏在性を理解し、原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化と新エネルギー開発の必要性について考察する。</p> <p>・居住・都市問題について発展途上国ではスラム、先進国ではインナーシティ問題などが現れていることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・身の回りで見られる再生可能エネルギーについて、そのメリットとデメリットを比較して、持続可能な社会に必要なエネルギー構成を構想することができる。</p> <p>・持続可能な都市を実現するためには都市政策と都市計画が欠かせないことを理解し、大ロンドン計画や計画都市ブラジリア、ドックランズの再開発、日本でも注目を集めるようになったグリーンインフラなどの具体的な事例の学習を通して、主権者として持続可能な都市の実現に向けた行動を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・通学路や学校周辺の空き家など、身の回りの都市問題に関心を持ち、地域の課題解決に向け学習した内容を振り返ることができる。</p>	○	○	○	5
現役世代と将来世代のための地球 平和で公正な社会に向けて	<p>【知識及び技能】 ・地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・一定地域の地理的環境と深く関連し、長い歴史をおして育まれた民族性について理解した上で、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、国際協力について、グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につける。</p>	<p>・SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエシカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。</p> <p>・教材：教科書・地図帳・準拠ノート ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</p>	<p>【知識・技能】 ・地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・一定地域の地理的環境と深く関連し、長い歴史をおして育まれた民族性について理解した上で、現在発生している民族問題の解決に向けた取り組みを提案することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し、国際協力について、グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につける。</p>	○	○	○	4
定期考査				○	○		1
自然環境と防災	<p>【知識及び技能】 ・世界を大きく変動帯と安定大陸で分類し、多くの自然災害は変動帯で起きていることを理解できる。</p>	<p>・世界を大きく変動帯と安定大陸で分類し、多くの自然災害は変動帯で起きていることを理解する。</p> <p>・変動帯はプレートテクトニクスによ</p>	<p>【知識・技能】 ・世界を大きく変動帯と安定大陸で分類し、多くの自然災害は変動帯で起きていることを理解する。</p> <p>・変動帯はプレートテクトニクスによって説明さ</p>				

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変動帯はプレートテクトニクスによって説明され、日本列島周辺は4つのプレートがぶつかり合っていることを理解できる。</li> <li>・防災や減災のために地形図を活用するため、地形図の読図について理解できる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・生活に影響を与えている気候、局地的な気候について理解し、気候によって異なった特徴を見せる生活・文化について、インターネットや周りの人から具体例を積極的に聞き出し、グループで話し合う。</li> <li>・自然災害に備えるためには、ハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに、災害に強い地形や環境について理解し、災害に見舞われた際になるべく被害を減らせる(減災)できるよう、地域防災力を高めるために個人ができることを積極的に話し合う。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・自然災害に備えるためには日常の備えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明され、日本列島は4つのプレートがぶつかり合っていることを理解する。</li> <li>・変動帯で見られる地震や火山の特徴を体系的に学び、その備えについて具体例を通して理解する。</li> <li>・防災や減災のために地形図を活用するため、地形図の読図について理解する。</li> <li>・降水強度の大きい湿潤な日本の気候環境を把握し、地形に応じた防災・減災のあり方について理解を深める。</li> <li>・地形の状態に応じて暮らしてきた日本の村落・都市立地を理解し、地形変化による生活環境の変化が人々の暮らしにどのような影響をもたらしたかを考察する。</li> <li>・自然災害に備えるためには日常の心構えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>れ、日本列島周辺は4つのプレートがぶつかり合っていることを理解する。</li> <li>・防災や減災のために地形図を活用するため、地形図の読図について理解する。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・生活に影響を与えている気候、局地的な気候について理解し、気候によって異なった特徴を見せる生活・文化について、インターネットや周りの人から具体例を積極的に聞き出し、グループで話し合う。</li> <li>・自然災害に備えるためには、ハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに、災害に強い地形や環境について理解し、災害に見舞われた際になるべく被害を減らせる(減災)できるよう、地域防災力を高めるために個人ができることを積極的に話し合う。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・自然災害に備えるためには日常の備えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解する。</li> </ul>	○	○	○	9
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活圏の調査と地域の展望</li> <li>【知識及び技能】</li> <li>・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して報告書をまとめ、発表する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・地域調査について、なぜ必要かを理解したうえで、調査の基本をマスターし、積極的に調査を行おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。</li> <li>・地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して報告書をまとめ、発表する。</li> <li>・地域調査を通して、地域のさまざまな事象に対し5W1Hの発問を設定して課題を抽出し、その解決策を提案し、共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識・技能】</li> <li>・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>・地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して報告書をまとめ、発表する。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・地域調査について、なぜ必要かを理解したうえで、調査の基本をマスターし、積極的に調査を行おうとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
合計							70